

日本原子力学会 保健物理・環境科学部会  
平成 14 年秋の大会 総会  
(平成 14 年 9 月 14 日 12 時~13 時 J 会場)

議 事

1. 部会長挨拶 小佐古敏荘 (東大)

2. 今後の部会主催・共催シンポジウムの予定

電力中央研究所 (低線量放射線研究センター) 主催

- ・「低線量放射線影響に関する国際シンポジウム」平成 14 年 9 月 25 日  
経団連ホール (経団連会館 14 階)

- ・「低線量放射線影響に関するワークショップ」平成 14 年 9 月 26 日  
経団連会館 10 階 パールルーム

京都大学原子炉実験所主催

- 「施設環境放射能動態専門研究会」平成 14 年 11 月 21 日~22 日  
京都大学原子炉実験所

Crossover Research Promotion Council 主催

- 「International Symposium on Transfer of Radionuclides in Biosphere  
Prediction and Assessment」平成 14 年 12 月 18 日~19 日

水戸三の丸ホテル

高エネルギー加速器研究機構

- 「第 3 回「環境放射能」研究会」平成 15 年 3 月 (会期は 3 日間の予定)  
高エネルギー加速器研究機構

3. 部会予算について

【平成 14 年度】

- ・平成 13 年 8 月現在の会員数を基に予算配付
- ・400 万円 × (部会員数/学会員総数) = 162,000 円
- ・会員管理料 (新規) 一律 60,000 円/部会

【平成 15 年度以降の案 (現在企画委員会で検討中)】

- ・学会からの部会配付金 (部会費) は企画委員会と財務委員会が決定
- ・「基礎配分金」+「会員数 × 会員 1 人当り配分金」による構成  
(参考; 部会員数は平成 14 年 7 月末日現在で 161 名)

- ・年度繰越金は 100 万円が限度

(超過分は学会の一般支出に充当。ただし、特別予算\*繰入分を除く。)

\*特別予算; 国際会議・シンポジウム、WS 等への海外からの研究者招聘、  
出版事業 (会員への無料配布が原則)、講習会開催などへの積立金

4. ICRP 調査研究連絡報告会について

放射線影響協会主催

「平成 14 年度第 1 回調査研究連絡報告会」平成 14 年 7 月 19 日

2002 年 5 月 ICRP 主委員会の概要報告

2002 年 6 月 ICRP 第 4 専門委員会の概要報告

ニュースレターを通して出席希望を募り、当部会より 4 名が代表出席した。

5. 「2003 年春の年会」における企画行事について

保健物理分野より (運営委員からの案)

高 LET 放射線と健康影響について

宇宙放射線による被ばく

ラドン (温泉、洞穴、密閉住宅) による被ばく

低線量放射線の影響 など

6. 副部会長挨拶 内田滋夫 (放医研)